

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年7月27日
神奈川中央交通株式会社
(東証プライム 9081)

2027年3月期第1四半期 決算実績

売上高:321億円(対前年+2.0%)、営業利益:29億円(対前年+11.4%)、
親会社株主に帰属する四半期純利益:17億円(対前年+11.6%)

売上高:旅客自動車事業における運賃改定の実施などにより増収

各段階利益:旅客自動車事業において、車両代替に伴う減価償却費や従業員の待遇改善による人件費が増加したものの、
上記増収により増益

旅客自動車事業	不動産事業	自動車販売事業	その他の事業
売上高:155億円(+7億円)	売上高:16億円(△2億円)	売上高:98億円(△1億円)	売上高:74億円(+3億円)
営業利益:14億円(+2億円)	営業利益:5億円(△1億円)	営業利益:5億円(+0億円)	営業利益:4億円(+0億円)
◆運賃改定効果が寄与 ◆減価償却費や人件費が増加	◆戸建分譲の販売戸数が減少 ◆賃貸施設の修繕費が増加	◆輸入車販売の販売台数が減少 ◆商用車販売の大型トラック販売 台数や車両整備収入が増加	◆商用車架装の受注が増加 ◆設備工事の受注が増加 ◆前期出店の飲食新店舗が寄与

2027年3月期 連結業績予想・配当予想

- ◆連結業績予想
 - ・第2四半期(累計)は、期初予想値(2026年4月公表)から増収増益へ上方修正
 - ・通期は、旅客需要の動向や昨今の中東情勢による影響を見極めていく必要があることから、期初予想値を据え置き
- ◆配当予想は、期初予想値を据え置き、年間配当金は1株当たり90円を予定

2027年3月期 第1四半期 決算概要

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減
売上高	32,145	31,500	645 (2.0%)
旅客自動車事業	15,550	14,793	757
不動産事業	1,629	1,837	△ 207
自動車販売事業	9,840	9,947	△ 106
その他の事業	7,476	7,081	395
調整額	△ 2,352	△ 2,158	△ 193
営業利益	2,907	2,609	298 (11.4%)
旅客自動車事業	1,416	1,123	292
不動産事業	521	672	△ 151
自動車販売事業	575	537	38
その他の事業	447	361	85
調整額	△ 52	△ 84	32
経常利益	3,012	2,725	287 (10.6%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,706	1,528	177 (11.6%)
1株当たり四半期純利益	139.05円	124.57円	14.48円

減価償却費	1,761	1,544	217
EBITDA(営業利益+減価償却費)	4,669	4,154	515

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
営業外収益	402	349	53 (15.2%)	受取配当金+64
営業外費用	297	233	63 (27.3%)	支払利息+118
特別利益	19	319	△ 299 (△ 93.8%)	補助金収入△287
特別損失	200	470	△ 269 (△ 57.3%)	固定資産圧縮損△273

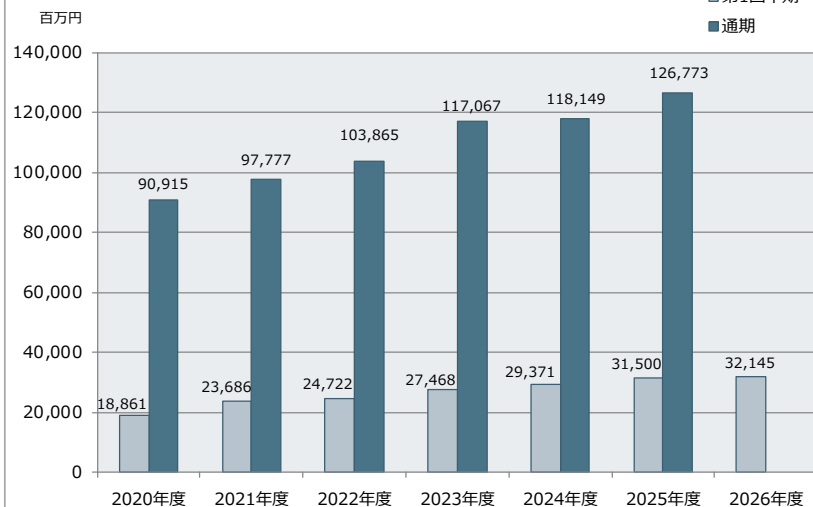
連結貸借対照表

Kanachu

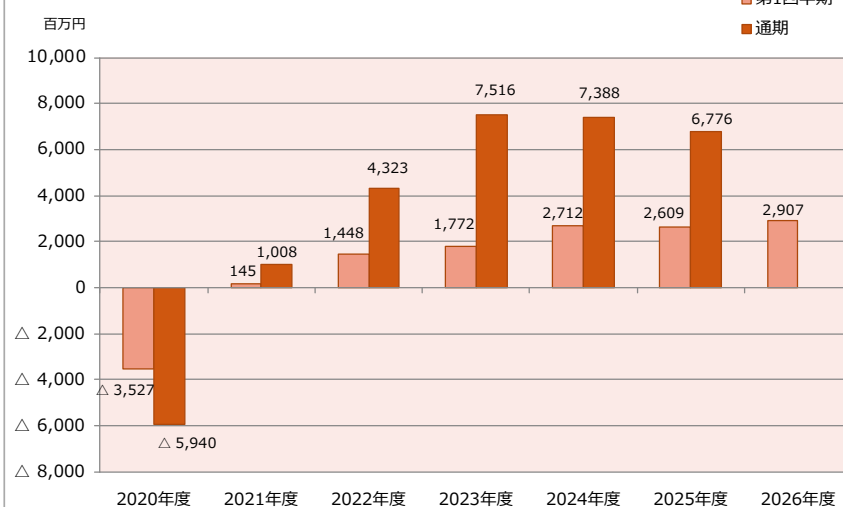
(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期	増減・主な要因	
流動資産	34,041	34,213	△ 171 (△ 0.5%)	現金及び預金△619 受取手形、売掛金及び契約資産△583 商品及び製品+765
固定資産	153,655	151,179	2,476 (1.6%)	投資有価証券+3,089
資産合計	187,697	185,392	2,304 (1.2%)	
流動負債	52,266	52,996	△ 730 (△ 1.4%)	短期借入金△2,319 その他の流動負債+1,810(前受収益他)
固定負債	62,454	62,734	△ 280 (△ 0.4%)	長期借入金△1,263 その他の固定負債+1,046(繰延税金負債他)
負債合計	114,721	115,731	△ 1,010 (△ 0.9%)	
純資産合計	72,976	69,661	3,315 (4.8%)	その他有価証券評価差額金+2,114 利益剰余金+1,154
負債純資産合計	187,697	185,392	2,304 (1.2%)	
1株当たり純資産額	5,426.39円	5,160.64円	265.75円	
自己資本比率	35.5%	34.2%	1.3P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	68,667	72,267	△ 3,600	借入金△3,582 リース債務△18

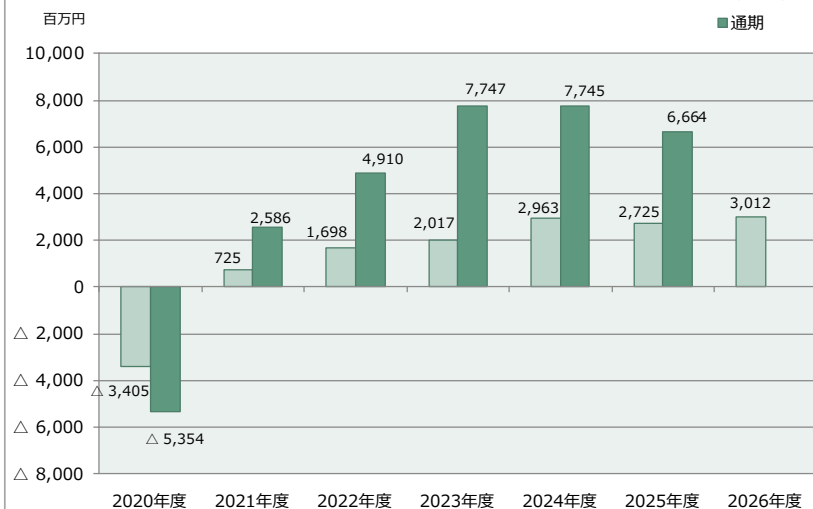
売上高



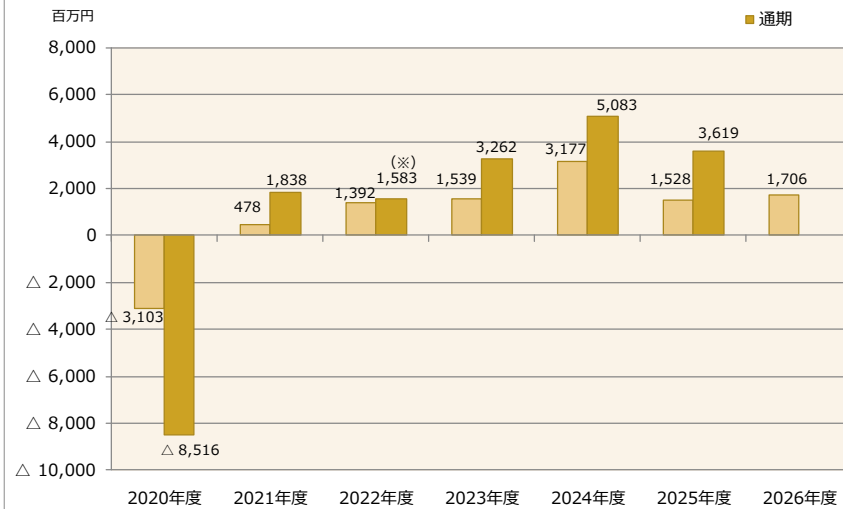
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を2024年度の期首より適用しており、2022年度通期実績について、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。

神奈川中央交通グループ 子会社19社、関連会社2社
うち 連結子会社 19社
持分法適用会社 1社(大山観光電鉄(株))

〈主な連結会社〉

■ 旅客自動車事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	15,550	14,793	757 (5.1%)	乗合バス事業+530 貸切バス事業+29 タクシー事業+197
営業利益	1,416	1,123	292 (26.1%)	乗合バス事業+158 貸切バス事業+19 タクシー事業+115

【対前年】

乗合バス事業は、車両代替に伴う減価償却費や待遇改善による人件費が増加したものの、運賃改定効果が寄与し増収増益
 貸切バス事業は、車両代替に伴う減価償却費が増加したものの、運賃改定効果が寄与し増収増益
 タクシー事業は、運賃改定に伴い、一車当たりの収入が増加したことにより増収増益

※参考 乗合バス事業輸送人員

(単位:百万人)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減率
定期外	31	33	△ 5.3%
定期	21	20	8.2%
合計	53	53	△ 0.3%

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	1,629	1,837	△ 207 (△ 11.3%)	賃貸事業+104 分譲事業△311
営業利益	521	672	△ 151 (△ 22.5%)	賃貸事業△124 分譲事業△26

【対前年】

賃貸事業は、前期に実施した不動産関連会社の新規連結により増収、修繕費の増加により減益

分譲事業は、戸建分譲の販売戸数が減少したことにより減収減益

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	9,840	9,947	△ 106 (△ 1.1%)	商用車販売事業+443 輸入車販売事業△550
営業利益	575	537	38 (7.1%)	商用車販売事業+113 輸入車販売事業△75

【対前年】

商用車販売事業は、大型トラックの販売台数や車両整備収入の増加により増収増益

輸入車販売事業は、販売台数が減少したことにより減収減益

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減
トラック	467	497	△ 30
バス	25	15	10
輸入車	106	129	△ 23

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	7,476	7,081	395 (5.6%)	商用車架装事業+235 ビル管理事業+123 飲食事業+32
営業利益	447	361	85 (23.8%)	商用車架装事業+36 飲食事業+23 ビル管理事業+20

【対前年】

商用車架装事業は、カプラ架装の受注台数が増加したことなどにより増収増益

ビル管理事業は、スポット工事の受注が増加したことなどにより増収増益

飲食事業は、前期に出店した「ドトールコーヒーショップ」などの新店舗が通期寄与したことなどにより増収増益

2027年3月期 業績予想

■売上高、利益ともに上方修正

- 旅客自動車事業において、旅客需要が想定を上回り推移
- 自動車販売事業において、大型トラックなど高価格帯の新車販売や車両整備収入が堅調

(単位:百万円)

	2027年3月期 第2四半期業績予想 (2026年7月公表値)	2026年3月期 第2四半期	増減	2027年3月期 第2四半期業績予想 (2026年4月公表値)	増減
売上高	64,700	63,396	1,303 (2.1%)	62,700	2,000 (3.2%)
旅客自動車事業	31,020	29,545	1,474	30,480	540
不動産事業	3,460	3,516	△ 56	3,010	450
自動車販売事業	19,660	20,102	△ 442	19,050	610
その他の事業	15,230	14,695	534	14,440	790
調整額	△ 4,670	△ 4,462	△ 207	△ 4,280	△ 390
営業利益	4,650	4,725	△ 75 (△ 1.6%)	3,550	1,100 (31.0%)
旅客自動車事業	2,160	1,819	340	1,680	480
不動産事業	970	1,334	△ 364	860	110
自動車販売事業	910	948	△ 38	670	240
その他の事業	720	798	△ 78	460	260
調整額	△ 110	△ 176	66	△ 120	10
経常利益	4,480	4,693	△ 213 (△ 4.6%)	3,290	1,190 (36.2%)
親会社株主に帰属する中間純利益	2,350	2,701	△ 351 (△ 13.0%)	1,690	660 (39.1%)
1株当たり中間純利益	191.51円	220.14円	△ 28.63円	137.72円	53.79円

(単位:百万円)

	2027年3月期 業績予想	2026年3月期	増減
売上高	129,700	126,773	2,926 (2.3%)
旅客自動車事業	59,870	57,908	1,961
不動産事業	10,250	6,842	3,407
自動車販売事業	41,930	44,907	△ 2,977
その他の事業	29,810	30,121	△ 311
調整額	△ 12,160	△ 13,006	846
営業利益	6,200	6,776	△ 576 (△ 8.5%)
旅客自動車事業	2,240	2,232	7
不動産事業	1,980	1,588	391
自動車販売事業	1,050	1,687	△ 637
その他の事業	1,320	1,602	△ 282
調整額	△ 390	△ 335	△ 54
経常利益	5,630	6,664	△ 1,034 (△ 15.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,730	3,619	110 (3.0%)
1株当たり当期純利益	303.97円	294.99円	8.98円
売上高営業利益率	4.8%	5.3%	△ 0.5P
減価償却費	7,370	6,457	912
資本的支出	14,310	15,025	△ 715
EBITDA(営業利益+減価償却費)	13,570	13,233	336
有利子負債／EBITDA倍率	6.2倍	5.5倍	0.7P
ROE	6.0%	6.0%	—

※ 旅客需要の動向や、昨今の中東情勢による影響を見極めていく必要があることから、2026年4月28日に公表いたしました予想値を据え置いております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 広報・IR担当 TEL:0463-22-8894